

「学志舎で心に残っていること」

私は高校生の時に行った田植えと
稲刈りが今でも記憶に残っています。

普段はスーパーや通販で何気なく売っているお米ですが、
この経験を通してお米に対する感謝の気持ちを
より深く知ることができました。

さらに、農家の方のお話を直接聞くことができ、
学校や日常生活の中で学べないことも
知ることができました。

高2の秋、このシリーズ第1回目に登場された、日下部先輩が学志舎を訪れ、
特別授業が実施されました。最後に質問コーナーがあり、
私は「高校時代何か失敗したことはありますか?」と質問しました。
その時の答えが「しいて言えば、物理。難問ばかり解いて、基礎をおろそかにした。
だから物理は思った程に伸びなかった。基礎は体に染み込むまでとことんやってください。」
岐阜高校のトップクラスだった先輩のこの言葉には驚きました。
そしてやもすれば難しい問題に取り組みがちだった私の心に突き刺さりました。
以降基本・基礎を大切に受験勉強に取り組んだことを思い出します。
(詳しくは裏面に)

力を何%出せたのか? 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。
「コーチ (coach)」とは「馬車」の意。ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

高1の冬、卒業する先輩から創大君の担当を引き継ぎました。
彼はそこには自分で計画を立てて学習を進めることができていました。
理科系の科目に関しては高2でほとんど終えており、
難しい問題も楽しそうに解いているのが印象に残っています。
日ごろから深く考える癖がついていたことが合格につながったのだと思っています。
向上心も強く、受験終了後には英語の資格試験の話をしていましたね。
もう3年生になったんですね。忙しくなりますが、お互い頑張っていきましょう。
また夏に学志舎で会えるといいね!

担当コーチ 福田仙一 岐阜大学医学部5回生



私は今年で大学の3回生になりました。
現在、座学では高分子や有機物の合成方法を学び、
実験では学んだ合成法を実施したり
その実験結果からプレゼンを行ったりの日々です。
知らないことばかりで新しい発見が多く、楽しく日々を過ごしています。
大学生活も残り半分となりましたが、これからも様々なことを学び、
将来社会に出た時にこの学びを活かしたいと思っています。

私が学志舎に通い始めたのは小学校6年生になる春休みのことでした。
それから7年間通い続けましたが、
そのおかげで計画を立てる力を身に着けることができました。
現在もレポートや課題等やるべきことが多くても
先を見通して充実した日々を送ることができています。
学志舎で学び、過ごしたことで
今でも活かせる多くの力を身に着けることができました。

受験まで親身になって熱く指導くださった福田コーチ、
またセンター試験の前日、救急外来勤務という忙しい身でありながら、
夜遅く学志舎まで激励に駆けつけてくださった
高1の時の担当の西田コーチには感謝しかありません。
そして勉強だけではなく
人生、政治、経済にわたって広く教えてくださった塾長、
どんな時でもいつも笑顔で励ましてくださった事務長、
本当にありがとうございました。

「卒塾生 学志舎で語る」vol.10



卒塾生 山本 創大 金沢大学 理工学域3回生

「卒塾生 学志舎で語る」
バックナンバーはこちら

学志舎

智をつけよ そして人の為に使わせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索

学生の皆さんへ
 テーマ〈高校の受験勉強と受験勉強が10年後にもたらす効果〉

塾長
 ご無沙汰してます、達哉です。頂いたテーマに関して…。早いもので、受験勉強をしていた時から干支が一回りしてしまいました。記憶が薄らぎかけていますが、ご容赦ください。

【短期的な効果】
 高校物理の受験勉強には、大きく三つのフェーズがあったな、と思います。

- ① 基礎知識を叩き込む（教科書と、その章末問題）
 ② どの基礎知識が求められるか、パッと分かる問題を解く（重要問題集）
 ③ どの基礎知識が求められるか、パッととは分からない問題を解く（東大の赤本？）

私は、教科書の章末問題①がちょっと怪しい状態から、重要問題集の他にも複数の問題集②に手を出してしまいました。これが失敗だったな～、と思います。

受験は一年勝負なので、難関大の試験問題③が解ける状態に最短でたどり着く必要があります。

③の解き方を推測するのに必要な知識②は、際限がありません。色々な大学や塾や出版社が、②の問題を作ってきたからです。

一方、②の解き方を推測するために必要な知識①は、そこまで膨大ではありません。①は「教科書に書いてあること」が全てだからです。

となると、②の段階で「あれ①なんだっけな」と考え始めると、②の問題分（つまり無限）に時間をロスします。なので、徹底的に①の段階で「疑問を潰す」のが、遠回りに見えて近道です。

一番の理想は、①を徹底的につぶした後、すぐに③を数年分だけ解き、傾向を掴む。掴んだ傾向から、②で重点を置く分野を逆算で決める、かと思います。残念ながら、当時の私にそんな作戦を立てる能力はありませんでしたが…。

今はYouTubeでも色々な受験テクニックが公開されているようなので、参考にされるといいと思います。



本気になれた経験はこれからの一生を支えてくれる。
 夏期講習会 2022

自律学習の徹底

「言われたことはきちんとこなすが、自分で考えて行動を起こすことが出来ない子が多い」と言われる昨今、学志舎は「学力」＝「学ぶ力」すなわち「自分で考えて、学習できる力」と位置づけ、徹底した自律学習指導を行うことにより、自分で考えて行動できる子どもを数多く育てています。



勉強の習慣付けを徹底

小学部

中学・高校の6年間で花開く「基礎学力」を徹底して作るコース



朝6時オールナイト学習会終了

中学部

高校受験のための教科力と自律の養成を徹底して行うコース



合格おめでとう！

高校部

本格的な大学受験のための学力形成を徹底して行うコース

学志舎

岐阜市で25年の塾運営経験を活かし、お子さまのレベルに合わせたカリキュラムを組み立て、徹底した自律学習指導を行っています。

皆さんこんにちは、学志舎の山田です。表面の山本君が日下部君に質問した時のことは私も隣に座っていましたがはっきりと覚えています。私は常々「基礎の大切さ」を生徒に口をすっぱくして言っておりますが、たまたま先日この話をある生徒にしたところ「岐阜高校のトップクラスの人が基礎ができてないはずがないのでは?」という質問を受けました。すぐに日下部君に生徒にわかりやすく説明したいのでメールで送ってくれんか?とLINEをしました。そして、左の返事をもらったわけです。社会人になって以降のことまで言及してくれるなんて、いかにも彼らしい回答です。私が基礎は大切という話をするときに、彼の話ともう一つの例を挙げます。それはドリコム株式会社の内藤社長の話です。ドリコムという会社は「みんなのゴルフ」「ダービースタリオン」と言えばわかるでしょうか。社長が京都大学の学生時代に興した会社です。現役で受験に失敗した社長は勉強を再開するにあたって、苦手だった英語ではなんと中3のテキストを引っ張り出して学習を始めたそうです。1年後京大に合格する人間が、中3のテキストですよ。確固たる基礎があつての難問トライなのですね。野球だってそうです。ファインプレーが生まれるまでに、どれだけのノックを受けてきたか。最初は体の前でしっかり打球を取る。バウンドによってグラブの差し出す位置を体にしみこませる。そんな基本のノックを受けた延長線上にダイビングキャッチのようなファインプレーが生まれるのです。けっして最初から3mも4mも離れた打球のノックを受けるわけではありません。さて、基礎の話ともう一つ。それは「計画」です。学志舎では長期休みの講習会で、小5～中3生に日々の計画作成を義務付けています。「計画無きところに成功無し」これまた私が生徒に口うるさく言っている言葉です。14年前の冬期講習会前のことです。高1の日下部君が私に「塾長、冬の計画表をください」「どうした?」「夏休みに計画を立てずに過ごしたら、だらだらになってしまいました。冬は中学時代のようにやってみたいんです」私のPCの中にはいまだに14年前の「日下部計画」というエクセルファイルが残っています。

——— 卒塾生の思い出 ———
 塾長 山田 勝登



褒める教育の徹底

褒め上手な親の子は伸びる子が多い、もしくは学力が高い生徒が多いというのは、25年の経験の中で間違いありません。学志舎は19年前に岐阜県では初めてコーチングを導入し、お子さまの存在を認め、良いところを褒めることを徹底して行うことで、お子さまを大きく伸ばしています。

詳細はHPをご覧ください

 〒500-8085 岐阜市白木町92番地
 【お問い合わせ】平日10:00～21:00
 ☎058-265-4562
 【感染症対策実施中】

https://gakushisha.com/
 学志舎
 検索

卒塾生 日下部 達哉
 東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻卒

 https://gakushisha.com/
 詳細はHPを御覧ください
 学志舎
 検索